

令和7年度 広島大学附属三原学校園 授業実践・授業研究

教科	社会科
6学年 単元名『当事者として政治を見つめる ～政策の立案と議員さんとの交流から～』 授業実践・授業研修	
日時	令和7年7月4日(金)
授業者	松林 泰弘
本時のねらい	①議員さんの話を聞いて、自分の考える政治のイメージを捉え直す。 ②オリジナル政策の他者評価から、政策の改善点を見つける。
キーワード	政策 政策提案 地方議員 本物との出会い 人々の困り事
授業の実際 (本時の子供の姿)	広島県の8市町(安芸太田町・安芸高田市・大竹市・庄原市・竹原市・廿日市市・府中市・三次市)の市町議会議員8名を招聘した。 まず、議員と子供たちとの距離を縮めるため、議員の自己紹介や議員を目指すきっかけなどを話していただいた。次に、グループに分かれ、子供たちのオリジナル政策を議員に提案した。授業後の子供たちからは「政治に対するイメージがよかった。」「議員さんからは独自性が足りないと適切にアドバイスをもらえたので良かった。」などの声があった。
事後協議の概要	市町議会議員からは、「今日の授業から、子供たちにも小さな変化が生まれてほしい」「身近な課題を捉える子供たちの視点にも学ばせてもらうことがあった」「今日発表した子供たちのアイデアが、ひとつでも次の行動につながるといい」などの言葉をいただき、子供たちと市町議会議員との交流が互恵的な時間であったことを物語っていた。

